

2013年11月1日

国土交通省

大臣 太田 昭宏 様

関東地方整備局

河川部長 泊 宏 様

利根川上流河川事務所

所長 須見 徹太郎 様

公開質問状への正式な文書回答を求める要請書

行田ナチュラリストネットワーク

代表 橋本 恭一

NPO 法人ふるさと創生クラブ

代表 今村 武蔵

NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会

副会長 新井 千明

全国環境保護連盟

代表 岩田 薫

私たちが2013年5月13日付で国土交通大臣あてに提出しました「利根大堰周辺の土砂採取工事による自然破壊の進行と自然再生事業に関する公開質問状」に関しては、去る8月中旬に回答者名や回答年月日等もいっさい記されていない文書が、利根川上流河川事務所から送付されました。その後、打合せの場を持ちたい、との一方的な連絡が同事務所からありました。

私たちは上記に関する対応を協議し、①今回送付の文書は、回答者名・回答年月日等の行政文書としての最低限の基本を整えておらず、正式な回答とは認められない ②特に、2008年4月9日付公開質問状への回答後も利根川上流河川事務所では人事異動に伴う引き継ぎが不十分という同様の過ちが繰り返されており、回答文書への責任者名の明記は不可欠、との見解に至ったことから、正式な回答文書の再送付を利根川上流河川事務所に申し入れました。

上記の経緯があつたにもかかわらず、10月下旬になるまで正式な文書回答はなく、10月21日になって打合せの場を持ちたいとのことで、突然利根川上流河川事務所から日程調整表のFAXが送付されました。正式文書による回答がまず必要であるとして強く求めていたにもかかわらず、それに対する何の連絡もないまま、またもやいきなり日程調整表を送付する利根川上流河川事務所の対応には、不信感が募るばかりです。

改めて、2013年5月13日付国土交通大臣あての公開質問状に対する公式の文書回答を、私たちの総意としてここに求めます。

なお、私たちは利根川上流河川事務所の掘削工事に伴い自然破壊が進む利根大堰下流左岸地域を対象に、本年4月から自主的な動植物調査を実施しており、最も生物多様性が豊かであった「たまり池」では、28種もの水辺の生きものが消滅したことを確認しています。自然再生への何年もの放置がこうした結果を招いており、今回の事態の推移に関しては、マスコミや政治家の方々からも重大な関心を寄せられ問い合わせが相次いでいます。この件については、改めて別途文書を提出することを申し添えます。

以上

【連絡先】

全国環境保護連盟

代表 岩田 薫

TEL. [REDACTED]

FAX. [REDACTED]